

議会だより



令和7年12月定例会・臨時会

あらし・予算審査特別委員会	2
議案審議・臨時会	4
一般質問5人が登壇	8
猪苗代高校生との一般会議	13
委員会レポート	14
こども議会	16
わたしたちの町(猪苗代中学校)	18

福島県 耶麻郡 猪苗代町 字城南 100 番地
<https://www.town.inawashiro.fukushima.jp/>

おめでとうございます
 ～二十歳を祝う会～



議会だより

マチイロのご利用は下の QR コードから



App Store



マチイロ



Google Play

箕輪スキー場の運営再開へ

あらまし

令和7年第9回定例会は、12月2日から12月10日まで開催されました。

町長から提出された議案は、令和7年度補正予算6件、条例の制定1件であり、すべて原案のとおり、可決しました。一般質問は5人の議員が行いました。

予算審査特別委員会

議長を除く12名の委員で、令和7年度補正予算を審査しました。

令和7年度補正予算

【主な質疑】

一般会計

歳入

《国庫支出金》

問 子どものための教育・保育給付交付金の減額の内容は。

答 ミニテル保育園で保育士の欠員があり、募集を行ったが応募がなく、予定した園児の

配置基準を満たすことができなかった。当初20名の入園を見込んでいたところ、7名の受け入れとなった。ミニテル保育園に支払う扶助費が大幅に減額になったことによる国の交付金の減額。

問 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、定額減税補

足給付金の不足額給付とあるが内容は。

答 令和6年度実施の定額減税給付金は、令和5年分の所得をもとに、推計額を用いて算定している制度。

令和6年分の確定した所得により、所得状況や家族構成の変化により、不足が生じた

歳出

《総務費》

問 箕輪スキー場に関して、新会社設立後に不動産取得税や運営再開にかかる費用計上とあるが、新会社設立の状況は。

答 11月27日、新会社の法人登記、認可申請等を行っており、12月中旬には完了する見込み。企画費投資及び出資金、1億8千万は。

答 不動産取得税で、最大で7千万円ほど。スキー場のオープンに向け、索道を含めて、修繕費用を1億円程度を見込んでいる。その他不測の支出に備えるため、1千万程見込む。メンテナンスは圧雪車、動産、リフトの点検、電気などの通電などの修繕費用がかかるので、負担分を計上した。



再開を待つ箕輪スキー場

《民生費》

問 手話によるコミュニケーションシヨンが必要な聴覚障がい者のための意思疎通支援事業委託料の増額は。

答 手話通訳者を派遣する事業。今後の利用が見込まれるため委託料を増額。

場合、今般その不足分を支給するもの。令和6年中に転入した方26名を含め、合計で1197名。

《県支出金》

問 ごみ減量・資源化取組実践支援事業補助金は。

答 家庭系の廃食用油、回収時にかかる経費が県のごみ減量・資源化取組実践支援事業補助金の補助対象に該当したため申請した。10月14日付けで交付決定となったので、補助金30万2千円を計上した。



家庭用廃食用油の回収コーナー
(リオン・ドール猪苗代店)

問 河川環境保全事業委託金の減額は。

答 長瀬川をはじめ、他7河川26行政区に予算取りした。実施できない区があり、面積が減り、52万1千円減額となった。

《寄附金》

問 ふるさと納税寄附金の使途は。

答 交流促進プロデュース事業と魅力的なライフスタイル提案プロジェクト事業で充当予定。

問 児童手当費の扶助費、大幅減額は。

答 出生や転入などで見込みが少なかったため。また、児童手当が令和6年10月に制度改正し、高校生まで支給対象が拡大された。7年度の予算から支出する予定が、6年度内に支給が完了したため、減額。

《衛生費》

問 带状疱疹予防接種の増額の理由は。

答 法律に基づく定期接種となり、町では50歳以上を対象に任意接種料金の一部を助成している。接種した方が大幅に上回ったため。

《商工費》

問 観光振興対策費の委託料は。

答 SNSを活用した広告宣伝、ひでよくんのミニタオル作成、福島DCのランディングページ、DCを念頭に企画広告を委託するもの。

《土木費》

問 図書歴史情報館管理費の電気料不足の要因は。

答 7月19日から8月24日までジオパークの展示、9月2日から9月28日まで町合併70周年写真展を企画し、エアコンの使用量が増えた。

《教育費》

問 小学校、中学校のスクールタクシー運行の内容は。

答 スクールタクシーは、月ごとの利用実績としている。実際には親の送迎により減額するもの。

問 保健体育総務費、全日本スキー選手権大会等の運営にかかる経費の350万円は毎年発生するのか。

答 1年ごとに350万円ほど、負担金の予定をしている。町からの負担金350万円は、学連等からの委託金等で対応していく。

【審議した議案】

猪苗代町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

令和8年から開始される「乳児等通園支援事業」（通称…こども誰でも通園制度）を実施するための基準を定める。

【主な質疑】

問 今回の条例は、現在適用されている基準と同等の基準か。

答 現在の設備を準用し、同等の基準。

【反対討論】

【五十嵐 ミエ子】
子育て支援は、家庭で育つ乳幼児への支援の仕組みを今求められているので、こども誰でも通園制度はとても心配。このことから条例に反対。

【審議した議案と可決状況】

下記以外の議案については全会一致で可決しました。

件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	結果
	長友海夢	山内浩二	鈴木元	大高佐代美	渡部一登	星野あけみ	瀧田勝昭	佐藤英一郎	長澤操	渡辺真一郎	五十嵐ミエ子	関沢和人	安齋浩明	後藤公男	
令和7年度猪苗代町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	○	議決
猪苗代町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	○	○	議決

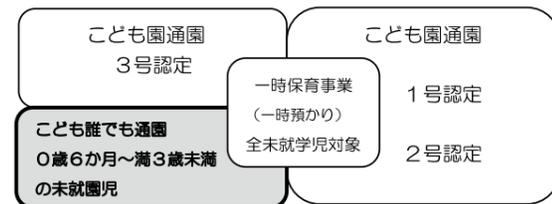
※賛成：「○」、反対「×」、議長「議」、欠席：「欠」

乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）について

令和6年6月に成立した子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律により、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できる新たな通園給付として創設された制度で、令和8年4月1日から全国の自治体で実施される。

令和6年6月に成立した子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律により、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できる新たな通園給付として創設された制度で、令和8年4月1日から全国の自治体で実施される。

※1 猪苗代町の未就学児対象事業について



※2 認定区分について

区分	年齢	保育時間	就労要件
1号認定	満3歳以上～	8:30～14:00	不要
2号認定	満3歳以上～	7:30～18:00 (標) 8:00～16:00 (短)	必要
3号認定	0歳6か月～満3歳未満	7:30～18:00 (標) 8:00～16:00 (短)	必要

◆猪苗代町における実施予定

開始時期：令和8年4月1日
実施施設：ひまわり・さくらこども園
対象者：0歳6か月～満3歳未満の未就学児
利用可能時間：1人あたり月10時間を上限
利用料：未定
実施方法：一般型又は余裕活用型
利用方法：認定申請⇒認定証交付⇒利用申込

◆各事業の比較について

事業名	目的	就労要件	利用時間等	利用者	利用者負担
幼保連携型認定こども園	乳児保育（就労要件必要）及び幼児教育	認定区分による	認定区分による	210名 (R7.4.1現在)	保育料 (3歳児未満)
一時保育事業（一時預かり）	保護者の必要性に対応（就労・通院・リフレッシュ等）	不要 ※R7から「リフレッシュ」拡充	月10日を限度	(R6実績) 109件中 在園児以外14件	半日750円 1日1,500円 (3歳児未満)
こども誰でも通園制度	こどもの良質な成育環境のため（発達支援・孤立防止等）	不要	月10時間を限度	30名程度の見込み	未定

臨時会

(11月6日)

あらかまし

令和7年第8回臨時会は11月6日開催され、令和7年度補正予算1件を審議し、原案のとおり可決しました。

【審議した議案】

「令和7年度猪苗代町一般会計補正予算（第5号）」

【主な質疑】

問 箕輪スキー場の登録免許税3千320万円の算出根拠、土地、建物の評価額及び税率は。

答 弁護士からブルーキャピタルマネジメント側のほうへ照会し、算出した金額。

問 施設の修繕費などの一部負担で交渉中とあるが、上限を決めて交渉しているのか。

答 全ての手続きの中で、支援金を含めて2億5千万から3億以内で整理していきたい。

問 新会社について、何も具体的にされていないが。

答 新会社の設立には、約款等々、会社法に基づいた手続きが必要になる。資本金、準備金も含め、現在準備を進めている。

問 町100%出資の新会社は、その後、運営委託先との第三セクター化をし、箕輪スキー場を運営してまいりたい。

答 運営委託先とは確約が取れているのか。
答 運営委託先、スポンサー様との基本合意は締結をさせていただいた。

問 スキー場再開に向けたあの程度のタイムスケジュールは。

答 スポンサー様との協議の中で、今シーズンのオープンに最大限の努力をして進めていく。

問 運営委託先との話合いが合意されているのに、運営委託先を言えない理由が分からないのだが。

答 委託先があらかじめ分かかってしまうと、交渉に影響を及ぼすこともあり、当初から会社名は公表しないことで協議を進めていた。運営委託先と基本合意書の締結ができたので、改めて、企業名を公表させていた。いてよいか確認を取り、了解が得られれば速やかに全員協議会の場でご報告させていただきます。

【反対討論】

【瀧田 勝昭】
企業名を明らかにして、全体スキームを明示し、町民負担が今後どう発生するのか町の考え方を示した説明が必要であると考える。現時点での全く不透明な予算に対して賛同することは、非常に難しい。

【審議した議案と可決状況】

件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	結果
	長友海夢	山内浩二	鈴木元	大高佐代美	渡部一登	星野あけみ	瀧田勝昭	佐藤英一郎	長澤操	渡辺真一郎	五十嵐ミエ子	関沢和人	安齋浩明	後藤公男	
令和7年度猪苗代町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	×	欠	○	○	○	○	○	○	議決

※賛成：「○」、反対「×」、議長「議」、欠席：「欠」



臨時会

(12月23日)

あらかまし

令和7年第10回臨時会は12月23日開催され、条例の一部改正4件、令和7年度補正予算5件を審議し、条例の一部改正1件を除き、原案のとおり可決しました。

「議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例」

【反対討論】

【安齋 浩明】

議員報酬は、その時の経済状況等を含め総合的に検討を重ねて決定すべきもので、人事委員会勧告に連動する形で変えるべきでないと考えます。

【鈴木 元】

義務的経費の割合が年々増加の一途を辿り、議員や特別職は、財務状況を見極めた上で判断すべきもの。町民目線に立った適切性の確保が不可欠である。

【反対討論】

【五十嵐 ミエ子】

物価高騰に歯止めがかからず、町民の暮らしにも深刻な打撃を与えている。この状況の中、議員報酬を引き上げるとは、町民理解を得られない。町民生活の支援の予算とすべきであり、見送るべきと考えます。

「町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例」

【主な質疑】

答 不祥事があったが、条例を改正することに、議論はなされたのか。

答 議論はなかった。

【反対討論】

【安齋 浩明】

本町の財政は極めて厳しく、このままいけば人権費、義務的経費のみが膨む。まずは若者や子育て世代の給与を上げることが優先すべき。よって、現在の本町の財政状況や諸事情を総合的に判断し、特別職三役の給与を上げるとは理解できない。

【大高 佐代美】

猪苗代中学校の不祥事の中で、子どもたちに動揺を与え、町民の方に不安、混乱を招いたことに関して、大人の責任として今回の条例改正に反対。

【鈴木 元】

人事院勧告制度は、公務員の労働基本権が制約されていることに対する代償措置となつている。特別職については反対。

【五十嵐 ミエ子】

先の議員報酬等に関する条例の改正と同様の理由で反対。

「令和7年度猪苗代町一般会計補正予算（第7号）」

【反対討論】

【安齋 浩明】

現在の本町の財政状況、事情を総合的に判断すれば、一般職員の給与の引き上げは理解できるが、特別職三役の給与を上げることは理解できない。町民の理解を得ることは難しいと考える。議員報酬は、その時の経済情勢などを含め、総合的に検討を重ねて決定すべき。

【鈴木 元】

この補正予算には議会議員の議員報酬、期末手当、また、町長と特別職の給与等に関する補正も入っている。町長等の給与等改正の条例は今ほど否決された。その否決された議会の意思が反映されていないので反対。

第4回議会報告会

11月9日（日）猪苗代町役場3階正庁にて開催しました。報告会には3名の参加があり、議会報告の後、グループで意見交換を行いました。

議会報告会でいただいた質疑・意見など

- ・議員にはもっと町を「こうやって活性化しよう」という質問をしてほしい。このような機会にみんなで意見を言って町が少しでも良くなればいいと思う。
- ・矢吹町ふるさとの森芸術村では、作品展を行うとき役場内に専門部署があり、作品の搬入搬出作業をすべて無料でやってくれる。機会があったらそういうものにも触れ、猪苗代でもいい方向になるように考えて頂ければと思う。
- ・毎回、日にちや時間、場所が変わったりして、いかにして参加者を増やそうかと考えていると感じました。私たち町民は、一票を投じて議員を選んでいるので、みんなの声を吸い上げるためには、どのようにして皆さん（議員）が町民の意見をもっと聞けるチャンスを作ればいいのか、考えてほしい。

この度いただきました貴重なご意見は、今後、よりよい町づくりのための議会活動に反映させていただきます。

*議会報告・意見交換の後に議場見学を実施しました



一般質問 町政を問う

〇〇〇 主な質問事項 〇〇〇

渡部 一登⑧

観光振興対策の取り組み

瀧田 勝昭⑨

令和8年度予算編成

渡辺 真一郎⑩

オンライン診療

山内 浩二⑪

森林経営管理制度

五十嵐 ミエ子⑫

国民健康保険行政

一般質問とは？

議員が町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点をたずねること。

本町の質問時間は、答弁を含め60分以内で1問1答方式である。

ユーチューブ

「YouTube」配信中！

猪苗代町議会、町のホームページでの録画映像配信と、スマートフォン等携帯端末での閲覧ができるよう、YouTubeによる配信をしています。各ページのQRコードをご利用ください。Wi-Fi環境での視聴をお勧めします。

※この映像は猪苗代町議会の公式記録ではありません。

【審議した議案と可決状況】 下記以外の議案については全会一致で可決しました。

件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	結果
	長友海夢	山内浩二	鈴木元	大高佐代美	渡部一登	星野あけみ	瀧田勝昭	佐藤英一郎	長澤操	渡辺真一郎	五十嵐ミエ子	関沢和人	安齋浩明	後藤公男	
報告第83号 議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	×	○	○	×	欠	×	○	×	○	×	○	可決
町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	×	○	×	×	○	○	○	欠	×	×	×	○	×	議	否決
令和7年度猪苗代町一般会計補正予算（第7号）	○	○	×	×	○	○	○	欠	×	×	×	○	×	○	可決

※賛成：「○」、反対「×」、議長「議」、欠席：「欠」



わたなべ かずと
渡部 一登



動画はこちら

Q. プレDCの経済効果は
A. 前年同期比6万人増加

【質問】これまでの観光振興対策の効果と検証は。
【商工観光課長】宿泊予約サイトを活用したクーポン事業では、閑散期の宿泊数が前期・後期ともに前年度14%増となり、一定の誘客効果が確認されている。観光二次交通「ひでよくん号」は、停留所や運賃の見直しにより利用者が約23%増加。教育旅行支援事業では、補助内容の見直しにより町内宿泊校数が増加する見込みである。
【質問】2026年ふくしまDCの内容は。
【商工観光課長】町内観光事業者の特別企画を活用したチラシ作成や新聞広告等により県内外へのPRを強化し、ノベルティを用いた首都圏イベントなどで情報発信を行う。

また観光協会HPにDC専用の特設ページを開設し、来町促進と周遊性の向上を図る。
【質問】既存のアートを活用した観光誘客や芸術祭の実施は。
【商工観光課長】町内にはウォールアートや美術館などアートを身近に感じられる資源があり、観光誘客につながる可能性はある。今後は既存のアートを活用した情報発信や、猪苗代アートプロジェクト実行委員会の皆様のご意見を伺うなどして、芸術祭の開催も含めた取組の可能性を探りたい。
（※）DC（ディスプレイネーションキャンペーン）とは
JRと自治体・観光事業者等が共同で実施する大型観光キャンペーン



壁面に描かれた作品

Q. 人口減少対策の目標値は
A. 出生者数 100名

前年 388名

【質問】人口減少対策の効果はあったのか。
【企画財務課長】各種対策には一定の効果はあったが、減少傾向が続いている。今後は国や県と連携し、より効果的な対策を検討していく。



【質問】子育てしやすい環境整備として、より厚い支援はできないか。
【企画財務課長】出産手当やおむつ券の支給など、これまで子育て世帯の経済的負担軽減に取り組んできた。今後は子育てしやすい環境整備と少子化対策の観点から、手当の充実が必要と認識しており、今後手当の拡充などを検討していきたい。



たきた かつあき
瀧田 勝昭



動画はこちら

Q. 重点支援地方交付金での施策は
A. 経済対策の恩恵がある施策の早期実施を目指す

【質問】国の地方財政計画は地方税の増加、地方交付税も増加。支出は、物価高対策と人件費対策の支出の増も見込んだ。町の予算編成方針の具体的な内容は。
【企画財務課長】学校統合事業等の大規模事業財源措置で、返済の元利償還金の公債費の増加がある。先送りした建築物や道路等の公共施設の長寿命化による事業費、少子高齢化に伴う社会保障費、賃上げ政策に伴う人件費の増や物価高騰の影響から、あらゆる面での経費の高止まりが見込まれる。歳入の確保に努め、職員一人一人が現状を認識し、事業の廃止、見直し、選択と集中を徹底して、効率的で効果的な行政運営で一層の歳出削減に努める。



施設の有効活用が望まれるカメリーナ

【質問】8年度の農業施策の具体的な取組は。
【企画財務課長】米の価格が安定し、組織や個人が農業を継続していく取組が重要な施策である。町だけでは取り組むことのできない事業も、国、県の事業内容等を注視しながら進めていく。

Q. ネーミングライツ等の町外への取組は
A. アイデアを募り町民と連携し検討したい

【質問】公共施設は住民サービス上必要で、公費負担で施設を維持するが、公共施設の維持管理費の現状は。
【企画財務課長】学校施設や体育館等の指定管理施設を含めず、物件費、維持補修費等を維持管理費としての推移は、令和2年度が1億7700万円、6年度は、2億3000万円、5年度で、14%程度の増加。物価高騰などの影響により緩やかに維持管理費が増加しているものと捉えている。

【質問】カメリーナ等の町外利用は50%に近い。社会教育施設を整備し交流人口の増加を。
【生涯学習課長】建設費用、維持管理費等の多額の経費が見込まれ、現時点でプール建設の予定はない。クロスカントリーコースは町運動公園の全天候型の陸上競技場や亀ヶ城公園内の遊歩道を利用した特設コースがある。今後は施設を有効活用し、県内外から利用されるよう、ホームページ等で周知を図り、本町のスポーツの振興に努める。



わたなべ しんいちろう
渡辺 真一郎



動画はこちら

Q. 町でオンライン診療の実施は
A. 町立病院では行っていない

【質問】オンライン相談は。
【保健福祉課長】小児科、産婦人科のオンライン相談を6年4月より実施。無料24時間相談可能。登録が必要である。民間業者に委託し現在73名が登録。子育てや妊産婦の不安解消に役立っている。
【質問】費用の負担は。
【保健福祉課長】国の補助金1/2、町負担1/2で今後も継続したい。



相続された未利用の土地

Q. 土地国家帰属制度の利用者は
A. 現時点ではない

【質問】買い手がなく利用もしない土地に固定資産税を課税し続けることには改正が必要では。
【税務課長】町の貴重な財産で適正公正な課税をする。
【質問】買い手がいない未利用土地が増え土地の評価は下落し固定資産税収は減るのでは。
【税務課長】人口の減少もあり税収は穏やかに下がっていくと捉える。
【質問】住民税非課税の世帯にも固定資産税は課税される。前納制度は残すべきでは。
【税務課長】納付の困難な方には分納や徴収猶予などで対応している。

Q. 猪苗代高校校長の公募は
A. 県立高で町は関与できない

【質問】困難にぶつかったとき、それを乗り越えるエネルギーを持った人間に育てることが教育の第一目標ではないか。
【教育総務課長】猪苗代高校は学校経営の運営ビジョンを策定しその中で特徴的な地域探究学習を実施している。

Q. 町経済発展のための施策は
A. 魅力ある商店街、商工業基盤強化に努める

【質問】磐梯町は財政事情が極めて順調。磐梯町の事例は研究されたか。
【企画財務課長】他の自治体も参考にしている。町財政も町債の残高は減らし財政調整基金も順調に増えている。
【質問】ふるさと納税による収入増を図っては。
【企画財務課長】過去5年間の実績は着実に伸びている。企業版ふるさと納税も取り組みを続ける。

Q. 企業誘致促進は一番大事
A. 厳しい環境で結果に結びつかず

【質問】工場立地の見直し時期は。
【商工観光課長】優遇制度を含め企業立地の促進条例を今後検討する。
【質問】企業進出の従業員移住に備えた生活環境整備を図るとあるが。
【商工観光課長】サポーターによる移住前後の各種移住支援金、補助金が充実している。
【質問】今後の取り組みは。
【商工観光課長】企業訪問を実施し、情報取りを行う。

Q. ストックヤードの進捗は
A. 9年度共用開始予定

【質問】家庭用生ゴミ処理機購入補助は。
【町民生活課長】現在も補助をしている。補助金申請書の作成支援検討。
【質問】今後のゴミ減量の対策取り組みは。
【町民生活課長】カレンダーや町政前講座、広報紙、ホームページ等を活用し継続して啓発に取り組む。



ストックヤードイメージ図

Q. 森林経営管理制度の導入運用は
A. 会津若松地方森林組合に委託

【質問】森林経営管理制度の取組み状況は。
【農林課長】森林所有者の経営管理に関する意向確認を計画的に実施するため、事前準備として森林組合に委託基本方針の策定を依頼している。
【質問】基本方針は。
【農林課長】町の森林経営集積計画の作成に向けた整備目標、整備水準等総合的な分析、検討をした基本方針の作成依頼、また整備後の目標林も設定を図っていく。
【質問】人口調査と地域林政アドバイザー制度の運用は。
【農林課長】現段階で専門知識をもっている森林組合に委託しているのを利用する予定はない。



やまうち こうじ
山内 浩二



動画はこちら



いがらし
五十嵐ミエ子

動画はこちら



県立猪苗代高校生との一般会議

10月28日(火)2年生20名と意見交換会を開催しました。4班に分かれて、各班からの発表や議員に対する質疑応答など、活発な意見が交わされました。

意見交換会テーマ

生徒からの質疑・ご意見

- ・町の予算は高校で希望すれば使っているのか。
- ・猪苗代湖の水質はどう守っているのか。
- ・「朝ごはん条例」などがあるが、猪苗代町にしかない条例はあるのか。また、制定にかかる期間は。
- ・少子高齢化や人口減少などの課題がある中で、現時点で、町議会議員目線で考えている解決策は。
- ・町を活性化するには、具体的にどうすればいいのか。
- ・猪苗代町の出生率が減っており、このままではどうなるのか。
- ・子どもを育てるお金や女性に負担が多いなどの少子化問題についてどのように考えているか。
- ・北塩原村にも数名、ウチダザリガニを取っている方がいるが、まだまだ人手不足である。
- ・一人暮らしの高齢者、交通手段のない高齢者が病院や用事を楽に移動できるサービスはないのか。

「地域探究活動について」



生徒からの感想

- ・短い時間ではあったが、議員さんとお話することができて充実した時間だった。猪苗代高校存続のために、外部の方に高校の魅力を最大限に発信していきたい。
- ・町に対しての要望といっても、課題も一緒に付いてくるから、この機会を通してしっかり課題に向き合うことが一番大切だと改めて感じた。
- ・町づくりには、大人の意見だけではなく、私たち高校生や小・中学生の意見も取り入れ、誰もが満足できるような町になるように、積極的に意見を挙げていくことが大切だと感じた。
- ・今回の話し合いを通して、自分には見えていなかった視点から見る事ができた。町に仕事が増えれば、人口も増えると思うので、ぜひ行ってほしい。
- ・地域探究活動について、具体的どのようなことを行っているか、議員さんにもっと知ってほしい。
- ・猪苗代町の人口減少(300人減)に対して出生率が30人ということに驚いた。
- ・「猪苗代町議会」の存在をあまり知らなかったから、議員さんと話すことができて良かった。
- ・熊が出ないものだと思っていたが、電気柵の設置など対策してくれていたことに驚いた。
- ・私は将来、猪苗代町に残ろうと思っているので、若者が町を去ってしまうことがとても悲しく感じた。

Q. 子どもの均等割の廃止は A. 県と市町村が一体で考えていくべき

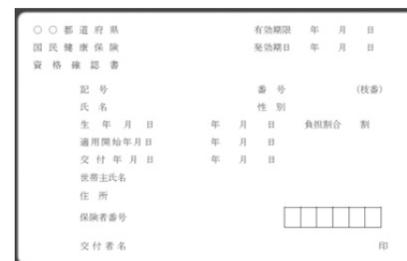
【質問】マイナ保険証の取得率と利用率は。

【町民生活課長】国民健康保険は、9月末日現在で被保険者2637人中取得率は76・8である。後期高齢者医療保険は7月末現在で被保険者910人中取得率は7・4%である。

利用率は、国民健康保険は把握していない。後期高齢者医療保険の7月分では、約31%が利用している。

【質問】資格確認書を全ての国保加入者に交付すべきと思うが。

【町民生活課長】法律で定められており、マイナンバーカードを紛失された方や、第三者が本人確認の補助をする必要がある場合、交付している。後期高齢者医療保険には、全てに交付している。



国民健康保険資格確認書

【質問】18歳以下の子どもの均等割を廃止した場合の本町への所要額は。

【町民生活課長】令和7年度の国民健康保険の加入者状況で試算すると、対象者が165人となり、最大で約525万円の財源が必要と試算している。

【質問】基金の活用と一般会計の法定外繰入で、子ども均等割廃止は。

【町民生活課長】今後予定される国保税の県内統一の対応から、実施は困難である。

【質問】学校のトイレに、トイレットペーパーと同じように生理用品を配備し、子どもたちが安心して学べる教育環境を整えるべきでは。

【教育総務課長】児童・生徒が安心して通学し、健康で衛生的な生活を保障するためにも、学校における生理用品の配備は必要であると認識している。本町の小学校では保健室に配備している。

【質問】小中学校に生理用品を配備することは、SDGsの基本理念である誰一人取り残されない社会の実現に関連しているが。

【教育総務課長】保健室に配備し、養護教諭が児童・生徒の個々の状況や気持ちに寄り添いながら配布をしている。今後、児童・生徒が安心して学校生活を送れるように、きめ細やかな支援に努めてまいります。

Q. 学校に生理用品の配備は A. 学校に配備は必要と認識している

【教育総務課長】経済的な理由で生理用品を購入できない、または十分な知識やケアを受けることができない環境にあるなどの問題が社会的にあることは、認識している。

【質問】生理用品はいつでも使われるように配備すべきと思うが。

【教育総務課長】保健室に配備し、養護教諭が児童・生徒の個々の状況や気持ちに寄り添いながら配布をしている。今後、児童・生徒が安心して学校生活を送れるように、きめ細やかな支援に努めてまいります。



委員会レポート

財産区の運営状況

財産区は地方自治法により、市町村の一部で財産を有し、公の施設を設けている。旧財産区は明治22年市制・町村制施行の際に、新財産区はその後設けられた。本町では、猪苗代・千里・月輪・長瀬・吾妻の各地区財産区が旧財産区、新財産区は翁島地区のみである。

財産区の性格は、特別地方公共団体で、区域は市町村の一部を構成する地方公共団体であるため、二以上の市町村にまたがって存在することはできない。

財産区の機能は、有する財産又は公の施設の管理や処分に関するものに限られ、新たにその財産の本質を変更するような財産の取得や施設を設けることはできない。

財産区の運営は、住民の福祉を増進し、市町村との一体性を損なってはならない。

総務文教常任委員会

【意見】
財産区毎に財産区基金の設置管理及び処分に関する条例



地区で管理している山林

が規定され、それぞれ独自の取り決めになっている。その中で設置目的が記載され、運用資金としている。そして、各地区での財産区の会計や使用用途もその地区の住民の福祉や整備等にも使用されているので、引き続き適性を図りながら進めていただきたい。

有害鳥獣被害の現状と対策

令和6年度までの統計では、出没数・被害件数は減少傾向にある一方で、クマは今年、ブナ等の堅果類の実りが凶作のため、例年を上回る出没が続いている。生活圏付近は朝夕の2回、防災無線による注意喚起を実施している。

令和6年度までの統計では、出没数・被害件数は減少傾向にある一方で、クマは今年、ブナ等の堅果類の実りが凶作のため、例年を上回る出没が続いている。生活圏付近は朝夕の2回、防災無線による注意喚起を実施している。

経済厚生常任委員会

【意見】
有害鳥獣対策は単なる個体数の問題ではなく、里山環境



クマによるトウモロコシの食害

視察研修・意見交換

【広報】
宮城県川崎町
議事録事録形式でなく、町民に親しまれ、見やすい、読みやすい紙面づくりを基本にわかりやすい表現方法を心がけている。モニター4名が編集に加わり、写真の提供をお願いしている。編集会議には、印刷業者も参加し、最終確認を行う。委員会専用カメラでより鮮明な写真を使用している。

【意見】
川崎町の「いいものは真似てみる」、松島町のタブレットでの編集作業は、興味深い。
【広聴】
高校生との意見交換は、学校側の協力で開催できた。継続したい。

広報広聴常任委員会

【広聴】
高校生と意見交換
10月28日猪苗代高校2年生との意見交換を行った。地域探究学習や町・議員について生徒の声を聞くことができた。
【第4回議会報告会】
11月9日役場正庁にて議会報告・意見交換・議場見学を行い、3名の参加があった。



宮城県川崎町議会議場にて

議会運営に係る先進事例

【熊本県小国町】
小国町議会では令和6年度よりDX化の一環として、議員へタブレットを支給し、事務局からの通知などは、すべて電子化されている。タブレット導入は4年くらいの期間を要したが、若手議員が率先して導入を図った。

【意見】
小国町ではタブレット活用による議会DX化が進められているが、本町議会DX化は、いまだ足踏み状態である。DXの導入について、執行部側のDX化に歩調を合わせるべきであるとか、もつと先進事例を調査する必要との意見もある。まずは小国町のようにペーパレス化を目的としたところからのDX化など、実施しやすいことから始め、そこから議会運営の効率化、透明性の向上、町民参加の促進など段階的に進めていくことも検討すべきではないかと思われる。

議会運営委員会

また、執行部側からの通知等はいまだ紙で行われ、十分活用されているとはいいがたい部分もある。
なお、タブレット導入に伴うペーパレス化の進捗状況は、まだ紙の需要も一部あることから、一定の成果はあるがまだ改善の余地があるとのことだった。



小国町での視察研修

第1回こども議会

令和7年11月10日(月)
猪苗代町教育委員会主催



こいけ はるま
議長 小池 晴馬さん(猪苗代小)

町内2小学校6年生を代表して8名の子ども議員が一般質問を行いました。
町からはこれまで取り組んできたことの説明や、頂いた貴重な意見を関係団体と共有し、今後の取り組みに生かしていきたいと返答がありました。



この事業は、子ども議員としての活動を通じ、行政や議会の役割を学び、地域の一員として問題解決のため、自ら町づくりに関心をもってもらうことを目的とします。

こども議会一般質問



あべ にこ
阿部 虹香さん(猪苗代小)

問 空き家の有効活用を

登校する道路の近くや猪苗代駅周辺、学校周辺にも、空き家があります。崩れそうで危ない建物は、解体してほしいです。何十年も空き家になっている建物は、有効活用してほしいです。リフォームなどをして、町民が遊んだり休んだりできる場所にしたり、病院にしたりしてほしいです。特に病院は、皮膚科や耳鼻科などがあるといいと思います。
町の景観の改善が必要だと考えます。空き家の有効活用をお願いします。

答弁 建物は持ち主に対応をお願いしています。
空き家の情報提供や相談会等の開催も計画していきます。

問 猪苗代町の人口減少対策は

町の人口は、わずか50年あまりで半数近く減少しています。要因は大きく3つあると考えられます。①仕事を求める若い世代の流出②①にともなう出生率の低下③東日本大震災の影響です。
このままでは学校の統合だけではなく、様々な部分に影響があると思いますが、町としての対策があればお聞かせください。

答弁 移住・定住の促進など、さまざまな施策に積極的に取り組み、人口減少を緩やかにしたいと考えています。



さとう かける
佐藤 駆琉さん(猪苗代第二小)

問 子どもが集まって遊べる施設を

猪苗代町には亀ヶ城公園のような素晴らしい施設がありますが、私の住んでいる吾妻地区からは、距離があり気軽に遊びに行くことができません。
郡山市のカルチャーパークには「屋内子どもの遊び場」があります。年齢ごとに遊ぶスペースが分けられ、床も人工芝なので、安全に遊ぶことができます。ぜひ、私たち子どもが楽しく遊べる場所を増やしていただきたいです。

答弁 今ある施設や各地区の公園や広場をもっと使いやすくする工夫をしていきたいと思っています。



あおき すばる
青木 昂さん(猪苗代小)

問 町の施設を増やしたい

未来の猪苗代町について「もっと私たちが利用できる施設が増えるといいのに」という考えをもちました。施設が増えることで、町の有用性が高まり、外部の人へのよい宣伝になると思います。また、町から流出する家庭や人を減らすことにもつながるのではないのでしょうか？
今後、施設が増える計画はあるのでしょうか？

答弁 魅力ある施設を運営してくれる企業の誘致など、民間事業者と連携して進めてまいりたいと考えております。



かねだ りま
金田 里舞さん(猪苗代第二小)

問 校舎の改築・修理を

エアコン設置の希望です。音楽室などの特別教室、体育館にはエアコンがないため、熱中症になりそうです。暑すぎて教室が使えないときもあります。
次に、トイレや水道などの水回りです。水が出にくい場所、すぐに詰まってしまう排水溝、茶色の水がでる水道などがあり、とても使いにくいです。
他にも、大きなくつが入る靴箱の設置、教室のカーテンの交換、遊具の塗装、床の交換などもお願いしたいです。少しでも快適に過ごすことができるよう、校舎の改築・修理をお願いします。

答弁 まずはトイレや水道などの水回りの改善を最優先に進めてまいります。



あべ ゆうせい
阿部 雄星さん(猪苗代小)

問 猪苗代町にプールを作る予定があるか

今年の夏は、学校のプールが暑くて使えない日が多くありました。温泉を利用した室内プールは光熱費が安くなるので、ランニングコストが安くすむそうです。
子どもから大人までみんなが楽しめるプールの実現をお願いします。

答弁 室内プールを作ることは難しいですが、今後も本町のスポーツの振興に努めてまいります。



いたばし
板橋 ふきさん(猪苗代第二小)

問 SNSで観光地PRを

猪苗代の魅力は、観光協会のホームページで確認できますが、やはり今はSNSの活用が効果的です。特に若者は、SNSで多くの情報を得ています。InstagramとFacebook以外にも、XやTikTokを活用してはどうでしょうか。オリジナル動画や旅行系インフルエンサーにPRを依頼することも考えられます。SNS活用で、たくさんの方が観光に来てくれることを願っています。

答弁 観光協会や観光事業者と役割分担をしながら、進めていきたいと思っています。



わたなべ みれい
渡部 美鈴さん(猪苗代小)

問 猪苗代湖の水質環境の改善は

猪苗代湖の水質は20年前と比べて悪化していると分かりました。水質改善で取り組んでいることはありますか？
猪苗代湖のヨシで作った炭を提供するカフェやお店などを作ってみてはどうかと考えます。

答弁 湖に流れ込む水の浄化のため、下水道接続や窒素・リン除去型合併浄化槽の設置を進めております。



いわさき えま
岩崎 咲菜さん(猪苗代第二小)



わたしたちの町 ～町の自然を守るために～



のぐち やまと
野口 大和 さん (猪苗代中学校)



磐梯山周辺の豊かな自然を守ることは、私たちの未来にとって非常に重要です。

先日、町長との面談で、ある町民の方がメガソーラー設置に関する提言を行いました。提言では、メガソーラー設置のために森林を破壊すること

で、土砂崩れや洪水の危険が高まること、また動物の生態系が崩壊し、景観が損なわれるといった深刻な悪影響が懸念されました。これはSDGsの目標15「陸の豊かさも守

ろう」にも通じる大切な問題です。

これに対し町長は、「すでに町内に存在する約70haのメガソーラーから、これ以上の設置は行わない」との回答を示しました。

私たちはこの貴重な機会を通して、自分たちの町の自然と景観について改めて考えることができました。今後、美しい猪苗代の自然を守るため、町民一丸となって行動していくことが求められます。

議長杯ソフトボール大会

11月2日、6チームが参加し開催されました。優勝は「JKBREAKERZ」準優勝は「名古屋町名球クラブ」3位は「バケモノ」です。



編集後記

大雪に始まった令和7年、あの長い暑かった夏もいつしか終わり、短かな秋も過ぎ、議会、たよりが皆さんに届く頃は、新しい年(令和8年)になっていくことと思います。

議会も町民のために、新首相の「働いて、働いて、働いて・・・」の言葉のように姿勢を貫けたかどうか。人口減少も止まらない中で、喫緊の課題に、町執行部も早急に取り組むような提言もできただろうか。

今後、一人でも多くの人が素晴らしい町として、住んでもらえることを願っております。

関沢 和人

広報広聴常任委員会

(広報担当)

- 委員長 星野 あけみ
- 副委員長 五十嵐 ミエ子
- 委員 山内 浩二
- 委員 大高 佐代美
- 委員 渡辺 真一郎
- 委員 関沢 和人

傍聴においで下さい

3月議会は 3月3日(火曜日) 開会予定です。

【一般質問予定日:9日(月)・10日(火)】

場所:猪苗代町役場3階 議場

※質問者・質問内容については3月1日以降に町のホームページ(議会事務局)に掲載します。また右施設にチラシを掲示しますのでご覧ください。

掲示施設名

- ・役場町民ホール
- ・学びいな
- ・和みいな
- ・カメリーナ
- ・町立猪苗代病院
- ・老人福祉センター
- ・まちのえきまるしめ